

# 知る

SHIRU



## 下関市立歴史博物館って、どんなところ？

図歴史博物館 (☎241-1080)

「歴史って、なんだか難しそう…」とっていませんか？

実は、歴史博物館は下関の「面白い！」が見つかる場所。海峡を舞台に、人やモノ、文化が行き交い、さまざまな出来事が生まれてきた下関の歴史を、貴重な資料や映像などから楽しく知ることができます。常設展示では古代から近代までの歩みをたどり、企画展や特別展では、歴史上の人物や出来事をさらに深掘り。公式アプリ「ワクワクれきはく」を使った、音声ガイドや記念撮影コーナーもあります。

「知る」から「もっと知りたい」へ歴史博物館は、下関の過去と今、そして未来をつなぐ、発見いっぱい場所です。



ダウンロードしてね！

ワクワクれきはく公式アプリ



### 外観

瓦屋根と深い軒が印象的な、和の趣を感じる外観。歴史ある長府の町並みに溶け込む、落ち着いたたたずまいも見どころです。



大きな軒が素敵！



### 1 エントランスホール

1846年の長府の地図を閲覧、アプリで龍馬と写真コーナーも。庭にある志士たちの銅像をガラス越しに観賞できます。



弘化3年 長府地区の屋敷割図

今の町と比べてみて！



### 2 ガイダンス交流室

下関の歴史大年表、海峡の文化財を紹介した360度パノラマ映像などが利用できます。



厳流島上空や非公開の功山寺国宝仏殿内部の映像が観られます



## 下関の歴史

奈良 708年(和銅1年)  
和同開珎が発行される。後に長門鑄銭司においても鑄造される。

平安 991年(正暦2年)  
「赤間(長門赤馬泊)」が史料に初めて登場する。(藤原佐理(三蹟の一人)の手紙)

鎌倉 1185年(寿永4年)  
壇ノ浦の合戦により平家が滅亡する。

1192年(建久3年)  
朝廷が安徳天皇追悼のためお堂(現在の赤間神宮)建立を命令する。



錦絵 檀之浦大合戦之図(義経八艘飛び)

### 3 常設展示室

下関の歴史を感じることができる定番の展示。資料は年5回程度、展示替えを実施しています。



おぎのりゅういちかんめせいどうほう  
荻野流一貫目青銅砲

下関戦争の時に彦島の台場に設置されていた大砲。戦争終結後に四カ国連合が戦利品として持ち帰ったもの。フランスの博物館より借用しています。

※掲載している展示物は、展示替えなどにより、ご覧いただけない場合があります。



### 坂本龍馬使用 飯碗・湯呑

龍馬が使用し、後に長府藩士に贈られたと伝わるもの。実物を見て龍馬をぐっと身近に感じられるかも!

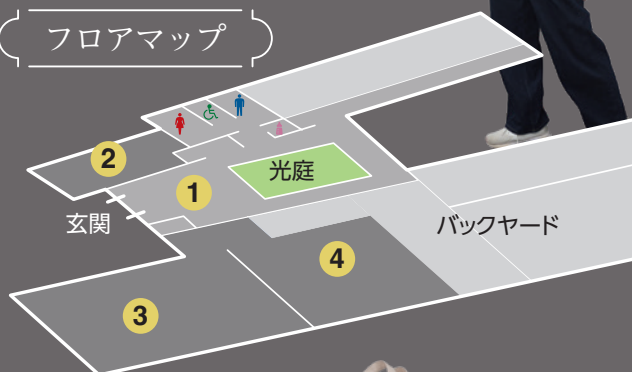
アプリを使って  
坂本龍馬と  
写真が撮れる!



雲の模様が  
可愛い♡



### フロアマップ



### 4 企画展示室

さまざまな歴史的事件や人物に焦点を当て、下関の歴史をもっと深掘り。次はどんな企画展が開催されるのか。詳しくは6〜7頁をご覧ください。



※答えは7頁を見てね!

- ① ティラミス
  - ② タピオカ
  - ③ ポップコーン
- Q2 長府藩最後の藩主・毛利元敏が実際に食べたものはどれでしょう?

- ① 学校
  - ② 病院
  - ③ 旅館
- 【歴史クイズ】  
Q1 明治時代に巖流島にあったものは何でしょう?



クリアファイル200円、トートバッグ800円、缶バッジ200円、マスキングテープ、絵ハガキなどオリジナルグッズがいろいろあります!

### ミュージアムグッズ

### 江戸

### 安土桃山

### 室町 南北朝

1615年(元和1年)  
串崎城(雄山城)が一国一城令により取り壊される。  
1653年(承応2年)  
長府藩三代藩主毛利綱元が、叔父毛利元知に豊浦郡清末村などを分け与える。(清末藩の成立)



狩野探幽筆 毛利秀元画像

1599年(慶長4年)  
毛利輝元が毛利秀元に長門国などを分け与える。  
1600年(慶長5年)  
毛利秀元、豊浦郡の大半と厚狭郡の四ヶ村を分け与えられて、二年後長府に入る。(長府藩の成立)



毛利元就御座備図

1320年(元応2年)  
長福寺(現功山寺)仏殿の柱立が行われる。  
1370年(建徳1・応安3年)  
大内弘世が住吉神社本殿を造営する。  
1557年(弘治3年)  
大内義長、長福寺で自刃する。(大内氏滅亡)

# 聞く KIKU

## 殿様がタピオカを先取り!?

学芸員の仕事は、博物館の展示をはじめ、館内や学校での教育普及活動など多岐にわたります。普段皆さんの目に触れることはありませんが、地道な調査研究も重要な仕事です。

下関は「海峡と歴史のまち」なだけあって、調べれば調べるほどいろいろなことが見えてきます。江戸時代、現在の下関市域一帯は長府藩が治めていましたが、その最後の藩主である毛利元敏<sup>もととし</sup>という人物を調べていたときのこと。彼が明治時代になってタピオカを食べて



歴史博物館 学芸員  
松田 和也さん

歴博で出会えたらラッキー♪  
いつもは普通の  
学芸員です(笑)※

※本誌で特別に、イギリスとの講和談判に臨んだ高杉晋作を再現した衣装を着ています。



▲大盛況の関連講座の様子

いたことを見つけました。そう、数年前にはやったあのタピオカです。実はタピオカは明治時代に日本にやってきたのですが、元敏はいち早く取り寄せて食べていたようです。下関の殿様はタピオカブームを100年以上先取りしていたんですね。さすがです。

元敏が洋食好きだったということもありますが、下関は古くから港町として栄えてきましたので、こういった最先端のものを手に入れやすかったことも背景にあります。平成30年には、市内の調理関係者と協力して元敏が食べた洋食の再現にも挑戦しました。

学芸員の仕事を通じてまだ見ぬ下関の歴史を発掘し、さまざまな方と一緒に下関の豊かな歴史を発信していきたいです。

## 関連講座参加者の声

歴史博物館には100回以上足を運んでいます。何度聞いた話でも、学芸員の解説で新たな発見があります。「知っている」と思っていた資料も、見方が変わると全く違って見える。下関の歴史は宝の山。歴史が苦手な人にも、まず一度、実物を見てほしいです。



福田 富美子さん

歴史博物館に来るたびに展示が少しずつ変わっていて「今月はどこが変わったかな」と思いながら見るのも面白いです。関連講座もほぼ毎回参加していますが、人気なので申し込みに出遅れると参加できないこともあります。話を聞いてから展示を見ると、より興味が湧きます。



真鍋 聡さん



歌川広重筆 六十余州名所図会  
長門下の関



オランダ商館長御用船下関入澳図

1718年(享保3年)  
長府藩が五代藩主毛利元矩<sup>もとのもり</sup>の急逝によって断絶する。  
同年  
清末藩二代藩主毛利元平(匡広)が長府藩を継承する。(長府藩再興・清末藩断絶(長清御統))  
1729年(享保14年)  
清末藩が再興される。(三代藩主毛利政苗)

1863年(文久3年)  
久坂玄瑞らが攘夷を決行し、アメリカ商船ペンブローク号を砲撃する。(第一次攘夷戦)

## ご先祖の古文書を寄託

江戸時代中期から家に伝わっている古文書を、歴史博物館に預けています。

### 写真の古文書



は、先祖が「小年寄」に任命されたことを伝えるもので、当時の商人と社会との関わりを知ることができます。家で大切に保管してきましたが、専門の方に管理してもらった方が、これからも残していけると思いました。手元から離れるときは、寂しかったですね。でも、博物館で展示されたものを久しぶりに見た時は、懐かしくて、ご先祖がすぐく身近に感じられました。

博物館に行くと、昔の人の暮らしを想像できて、歴史を肌で感じられます。皆さんにも、知らなかった下関を発見してほしいです。



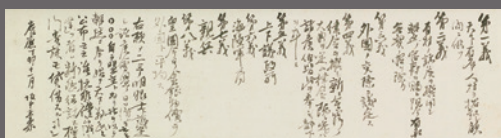
西原 由実さん

## 下関を歩いた龍馬を想像

下関は、海を舞台にさまざまな歴史が繰り広げられてきた「歴史の結節点」です。壇ノ浦の戦いや幕末の外国船砲撃など、教科書で学ぶ出来事も、実際にこの下関で起きました。

歴史博物館では、書籍やインターネットでは分からない、当時の人が実際に使った「現物」を見ることが出来ます。坂本龍馬ゆかりの資料を見て、「龍馬が実際にこの街を歩いていた」と想像すると、歴史上の人物が身近に感じられます。

自分が暮らす街の歴史を知ることが、自分自身を知ることにもつながると思います。博物館を訪れ、資料を通して下関の歴史を感じてみてください。



坂本龍馬筆 新政府綱領八策



早稲高等学校 教員  
畠中 茂朗さん

## クラスで紹介動画を作成

クラスに動画制作が好きな子がいたことがきっかけで、2年前、子どもたちと歴史博物館を紹介する動画を作りました。

博物館に行ったことのある子は少なく、「難しそう」という印象もありました。展示の説明を子ども向けに考えたり、クイズやイラストを作ったりする中で、少しずつ歴史に興味を持つ子が増え、友達と博物館へ行った

り、歴史を調べて自学ノートにまとめたりする子もいました。私自身も歴史が苦手でしたが、子どもたちと一緒に学ぶ中で、博物館が身近になりました。まずは一度行ってみて、何か一つでも「面白い」と感じるものを見つけてほしいですね。



動画



※動画中の企画展は既に終了しています。



豊浦小学校 教員  
高久 瞳子さん

## 明治

同年  
高杉晋作が竹崎の白石正一郎邸で奇兵隊を結成する。

1864年(元治1年)  
四国連合艦隊が下関を攻撃する。



占拠された前田低台場の写真

同年  
高杉晋作らが決起して、翌年萩藩内部での争いに発展する。

1869年(明治2年)  
長府藩が豊浦藩と改称する。

1871年(明治4年)  
豊浦藩・清未藩が廃藩置県により県となった後、山口県と合併する。

1889年(明治22年)  
市制施行により赤間関市が誕生する。(初代市長伊藤房次郎)

1895年(明治28年)  
春帆楼で日清講和条約(下関条約)が締結される。

1901年(明治34年)  
山陽鉄道が延伸され細江に馬関駅が設置される。

1902年(明治35年)  
市名を下関市、駅名を下関駅と改称する。

# 観る

MIRU

開戦160年特別展でたどる  
「幕長戦争」

## 幕府の大軍を退けた 長州

慶応2年（1866）6月、征長軍と長州軍との間で幕長戦争の火蓋が切られました。戦いは、大島口・芸州口・石州口・小倉口の各方面で繰り広げられましたが、征長軍は撤退。翌年1月に戦争は終結します。長州軍を破ることができなかった幕府の権威は大きく失墜し、幕長戦争は幕末史の重要なターニングポイントとなりました。

本特別展では、幕長戦争の開戦経緯や戦いの動向、その意義を紹介します。



散兵戦術を可能にした西洋式銃

（エンフィールド銃）

（下関市立歴史博物館蔵）

幕府

動乱の時代を生きた  
若き将軍『徳川家茂』



徳川家茂画像（模写）  
（東京大学史料編纂所蔵）

VS

長州

支藩とともに難局に立ち  
向かう萩藩主『毛利敬親』

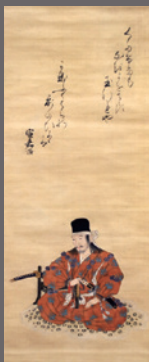


毛利敬親画像  
（山口県立山口博物館蔵）

／ 初公開 ／

長州

藩主の無実を訴えるべく  
上洛した萩藩家老『福原越後』



福原越後画像  
沢宣嘉賛  
（個人蔵 当館寄託）

長州

禁門の変に散った  
萩藩の勇将



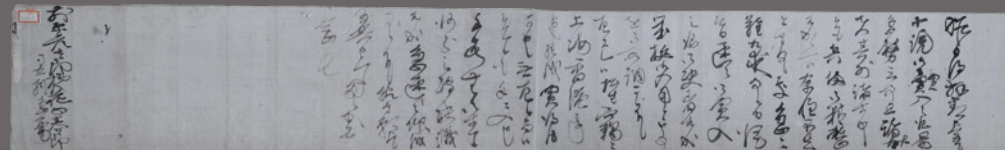
萩藩士の来島又兵衛。長州勢力が京都で引き起こした禁門の変で討ち死にしました。

来島又兵衛画像（山口県立山口博物館蔵）

長州

開戦に備えて奔走する  
伊藤博文の書状

伊藤博文書状 前原一誠宛（松陰神社宝物殿至誠館蔵）



平成

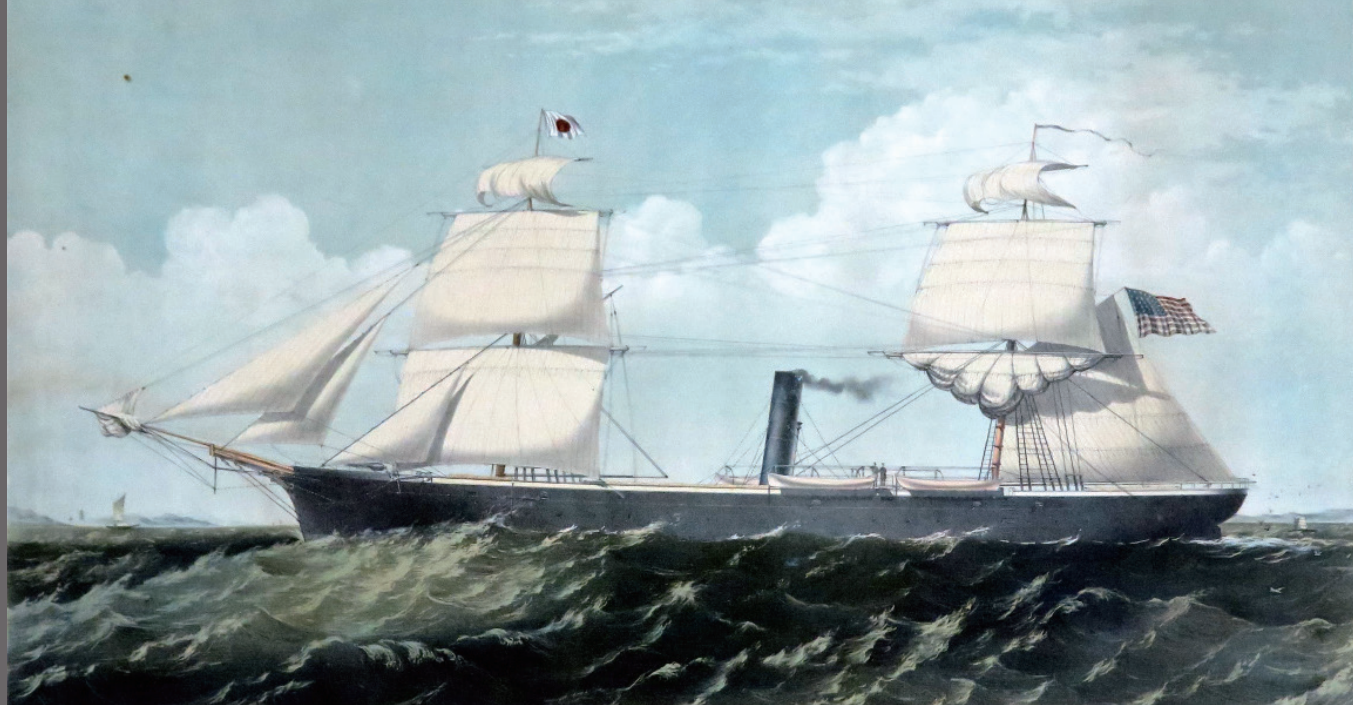
- 1945年（昭和20年）  
二度の空襲により市街地が焼失する。
- 1958年（昭和33年）  
関門国道トンネルが開通する。
- 1973年（昭和48年）  
関門橋が開通する。
- 1980年（昭和55年）  
長府博物館が財団法人から下関市に移管される。
- 2005年（平成17年）  
下関市・菊川町・豊田町・豊浦町・豊北町が合併する。（現下関市の誕生）
- 2016年（平成28年）  
下関市立歴史博物館が開館する。

昭和

- 1933年（昭和8年）  
桂弥一が長門尊攘堂を設立する。
- 1942年（昭和17年）  
関門鉄道トンネルが開通（下り線の公式運転開始）、下関駅が竹崎町に移転する。



関門海底トンネル絵葉書



リトグラフ JAPANESE GUN BOAT "FUSIYAMA" (船の科学館蔵)

開催期間 10月9日(金)～11月29日(日) 会場 歴史博物館 長府川端二丁目2番27号

開催時間／午前9時30分～午後5時(入館は午後4時30分まで)  
休 館 日／毎週月曜日※祝日の場合は開館して翌平日が休館  
観 覧 料／一般700円(560円) 大学生等400円(320円) ※( )内は20人以上の団体料金 ※下関市に居住する65歳以上の方は観覧料350円(要公的証明書) ※18歳以下の方、障害者手帳をお持ちの方は観覧無料(要公的証明書)  
■11月15日(日)は、「城下町長府時代祭り」のため博物館周辺にて交通規制が行われます。最新の情報をご確認の上ご注意ください。



### 特別展開関連講座

- ① 幕末期長府藩の軍制改革  
10月28日(水)・10月31日(土)
  - ② 長府藩と小倉口の戦い  
11月25日(水)・11月28日(土)
- 各日午前10時30分～11時30分  
場 所…歴史博物館

ガイダンス交流室

資料代…300円

定 員…各45人

予 約…10月2日(金)

午前9時30分から博物館受け付け、電話にて受け付け開始

### 展示解説

10月28日(水)・10月31日(土)  
11月25日(水)・11月28日(土)  
各日午前11時40分～午後0時10分

※内容はいずれも同じ。

※関連講座後に実施するため時間が前後する可能性があります。

場 所…歴史博物館

企画展示室

料 金…特別展観覧料

### PRESENT /

期間中、展示を観覧された方から抽選で100人の方にオリジナルグッズをプレゼント!

▼長州再征軍進発図(下関市立歴史博物館蔵)



本年11月18日、歴史博物館は、開館10周年を迎えます。

これまで、さまざまな展示や教育普及活動を通じて、延べ約30万人の方を、展示室にお迎えすることができました。歴史資料を熱心に見つめるお客さまの姿は、私たち博物館職員の大きな励みとなりました。次の10年も、皆さまと下関の歴史を共有し、ともに学びを深めていく場であり続けたいと考えています。

歴史を学ぶ意義は、過去の事例から知恵や教訓を得て、現在起きている問題の本質を見極め、より良い未来を創造する力を養うことにあると思います。

引き続き「海峡に育まれた下関の歴史と文化―海峡の歴史に未来が見える」をメインテーマに博物館活動を展開し、皆さまの期待に応えられるよう努めてまいります。



歴史博物館 館長 古城 春樹さん